

令和4年度第1回岩手県後期高齢者医療広域連合運営協議会 要旨

- 1 開催日時 令和5年2月7日（火）午後2時から午後2時59分
- 2 開催場所 岩手県自治会館4階第5会議室（Web会議併用）
- 3 出席委員 対面参加：瀬川委員、押切委員、高橋（聡）委員
Web参加：高橋（陽）委員、渡邊委員、熊谷委員、内宮委員、木村委員、大黒委員、野原委員（代理：阿部氏）
- 4 欠席委員 吉田委員、小枝指委員
- 5 傍聴者 なし

6 会議の概要

（1）説明

次の事項について、事務局から説明した。

- ア 後期高齢者医療制度の動向等について
- イ 岩手県後期高齢者医療広域連合の運営状況について

（2）主な意見・質疑等

（委員）

負担割合別被保険者数について、これから団塊の世代が後期高齢者に突入し、これまでの世代よりも働いている人が多いのかなと思うが、2割負担の方が増えるのか等、見通しがあればお聞きしたい。

（事務局）

前後数年の状況や、75歳前の就労状況から鑑みても、割合の変動はあまり想定していない。将来的には2割負担が伸びていく可能性があるが、今のところ直接的な変化というものはない。

（委員）

フレイルの前にまずオーラルフレイルがあり、オーラルフレイルのだいたい2年後にフレイルに移行するということが「口腔からの健康推進」や「予防の取り組み」は重要である。一体的実施事業の市町村ごとの委託状況に関して、健康と言っても色々な切り口から始めなければならないが、広域連合としても市町村へのお願いにとどまらず、様々な角度から市町村を鼓舞するような取り組みがあってもいいのではないかと。

（事務局）

一体的実施事業については、令和6年度末までに県内全市町村での実施という目標に向かって動いており、まずは完全実施という目標達成が優先事項である。そのうち、オーラルフレイルも含めてやっていかなければならないことがあり、今回情報提供いただいた取組の中で、例えば県を通じて活用させてもらえるものがあれば、市町村へ情報提供するなど検討してみたい。

（委員）

「重複・多剤投薬者訪問指導事業」について、人数等の結果においても年々充実していることが

わかる。今年度の状況や、5年度の見通しなどあればお聞きしたい。

また、事業としての効果についても数字で分かれば示していただきたい。

(事務局)

今年度も実施しており、次年度も同様に進めていく。令和3年度の事業の実績としては、1,834人について検証したところ、一人当たり月963円、1.59剤の減という数字が出ており、年2,130万円ほどの効果があった。

御指摘いただいた通り、今後は人数等の実績のほか、効果額についても資料に掲載することとしたい。